

久枝地区タウンミーティング(要約)

平成26年10月18日(土曜日)

【市長】 皆さん今日はようこそお越しいただきました。土曜日の午後ということで、いろいろご用事もあったのではと思いますけれども、本当に多くの方にお集まりいただきましてありがとうございます。この久枝地区のタウンミーティングの開催にあたりましては、久枝地区町内会連合会の会長さんをはじめ、役員の皆様のご協力をいただきました。本当にありがとうございます。このタウンミーティングは私が市長に就任させていただいて4年前から始めさせていただきました。松山市は旧の松山市、旧の北条市、旧の中島町を合わせて41地区に分かれます。どちらが楽かという、市役所で皆さんがお越しになるのを待っていたほうが楽です。しかし、果たしてそれでいいのでしょうか。我々から各地区に出向いて各地区のそれぞれお困りごとや課題を教えていただいて、できることからできるだけ早く反映し、課題は減らす、そして魅力を教えていただいて魅力を伸ばすまちづくりをしようということでタウンミーティングを始めさせていただきました。最初は、市長の任期は4年の48カ月ですから41地区を1カ月に1カ所回らせていただいて、4年で1巡ができればと思っていたのですが、おかげさまで好評になりまして2年2カ月で1巡を回りまして、今、2巡目に入っています。旧北条の河野地区を残して、今日で2巡目の40地区目になります。松山市版のタウンミーティングの特徴ですが、皆さんから言っていたことについては、できるだけこの場でお答えをして帰ります。しかし、中には国や県と関係する案件、また財政的な問題があるもの、そういったものはいい加減な答えをして帰るわけにはまいりません。いったん持ち帰らせていただいて、やりっぱなし聞きっぱなしにはしないで、1カ月を目処に必ず地区に返事をするのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。私はこのタウンミーティングをガス抜きとかパフォーマンスのためにやっているわけではありません。できることからできるだけ早く市政に反映したい思いでやっておりますので、1カ月を目処に答えられなかったことも必ず返事をするのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。さて、久枝ですけれども、私も結婚して久枝に住み始めてもう20年になります。20年住んでいても知らないことはいっぱいあると思います。実はみどり小学校の運動会に今年行かせていただいたのですが、「市長と一緒に給食を食べよう」という催しをさせていただいて、子どもたちから運動会には伝統的に7段のピラミッドをするんですと教えられて、「じゃあ行こうわいね、約束はできんけど」

ということでしたが、何とかみどり小学校の運動会に行かせていただくことができました。20年も住んでいて7段のピラミッドをしているのは知らなかったです。今日も知らない話がいっぱい出てくると思います。今日もよりよい久枝をつくるための前向きな話し合いができればと思いますので、今日もどうぞよろしく願いいたします。今日は小学生さんもお越しです。90分間ありますが、ずっと緊張しているとさすがに疲れてしまうと思いますので、ぎっくばらんな前向きな話があればと思います。どうぞよろしく願いいたします。

【小学生】 私は久枝の川をきれいにしてほしいと思っています。理由は2つあります。1つは川狩りを川で行いたいからです。川狩りは昔から久枝で行われている伝統行事です。お祭りの日にみこしを川の中に入れて清めます。でも、川がよごれたために川に入ることができなくなりました。とても残念です。ぜひ川をきれいにして本当の川狩りを行いたいです。

【小学生】 もう1つは久万川をほたるの住む川にしたいからです。少し上流の潮見にはほたるがたくさんいます。僕はそのほたるを見にいき、とてもきれいで感動しました。それで久万川にもほたるがいたらいいなと思ったからです。ぜひ野志市長さん、きれいな川にしてください。

【市長】 はい、わかりました。これは刺激になるといいますか、我々の大人世代にも響く意見だったと思います。私も久枝に住んでいますから、川狩りの場所は歩いたり走ったりします。亀が多いですね。亀も多いし鯉も泳いでいますね。知っています。川狩りはもともと久万川でやっていたのですけれども、ちょっと水質が悪くなってあそこでやると健康被害も心配されるので、川狩りの場所がまたつくられましたよね。下水道の担当から話してもらいますが、実は久万川をきれいにしようとする動きがあるんです。それをご紹介します。確かに上流の潮見に行くとほたるが飛んでいる場所があるんです。ほたるを見たいよね。住んでいる子どもたちの意見でありますので、大人は川をよごしてはいけません。川のそばを歩いているとペットボトルが捨てられていて、残念だなと思うことがありますけれども、刺激になる意見だったのではないかなと思います。

【下水道政策課長】 失礼します。ご意見ありがとうございます。下水道政策課の高市と申します。よろしく願いいたします。川をきれいにしたいということは、皆さんも同じご意見だと思います。川が汚れている理由の1つは、家で使っている台所とかお風呂などから出る汚い水で汚れている。あとは川の中に心無い方がごみを捨てるとかで汚れます。どう対応していくのかというと、1つは下水道を整備して直接、管の中に汚い水を流して、下流に処理場をつくってきれいにしていくことと、もう1つは下水

道がまだできていないところは合併浄化槽といいまして、家の中に浄化槽をすえつけてきれいにしていく方法がございます。こちらの久枝地区は下水道は北から始めますので1番の上流部分になります。西に流す処理場もあるのですが、どちらにしても1番の上流で、こちらに向いてくるのに時間がかかっております。松山市内で久万川周辺が特に水質が悪いということがございまして、合併浄化槽をする場合に設置の補助をしておりますが、この久万川周辺は今年度から環境部で水質改善が進まない久万川流域で補助金を上乘せして整備を進めております。通常ですと5人槽に45万円ぐらいの補助がつきますが、上乘せされて60万円ぐらいの補助になるということで、少しでもよくしていこうとしております。詳しくはどの範囲がその対象になるのかもございますので、個々には環境指導課の浄化槽の担当までご連絡いただきましたらわかると思います。そういう動きもございますので、少しでも久万川周辺をきれいにしていきたいと思っておりますので、よろしく願いをいたします。

【市長】 広い松山市ですけれども、川の水質を見ると久万川はどちらかというところとよくないです。これはいかなんかということで、水質改善優先整備地区というのを決めました。安城寺・鴨川3丁目・久万ノ台・高木町・問屋町・西長戸町・東長戸1～4丁目・船ヶ谷町のそれぞれ一部が水質改善優先整備地区になりますから、行政もより力を入れて久万川をきれいにしていきます。実は松山城のお堀の水もだいぶきれいになってきています。どういう方法できれいになってきたか、松山市としてはどこの水もきれいにしていきたいんです。例えばアスファルトとかセメントで固めてしまうと、雨が降ったら底に溜まっているほこりがお堀に流れてしまいます。でするので、そういうのも含めて松山城の堀之内の公園は芝生にしたんです。芝生にして砂にしたら、ろ過されてきれいな水がお堀に流れ込んでいくようになるんです。それで、溜まった状態になって行き来しないと余計に濁ってしまうので、NHKさんに行く橋のところを水が行き来がしやすくなるようにしました。そして、昔、市営プールがあったところに井戸があるんです。そこの井戸から水をお堀に入れるようにしたりとか、とにかくお堀の水がきれいになるようにしたいんです。今、お堀の水もだいぶきれいになってきました。このように松山市全体の川の水をきれいにしていきたいと思っておりますが、行政だけの力ではできないので、皆様のご協力もよろしく願いいたします。

【中学生】 私は松山市立鴨川中学校3年です。今日は貴重な機会なので、本校のゆるキャラ「かもも」を連れてきました。かももは本校で今年誕生したゆるキャラですが、鴨川地域に愛されるキャラクターとして定着させ

ていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。私は「みきゃん」も大好きですが、「かもも」も今年のゆるキャラグランプリにエントリーしています。現在、303位と善戦していますが、投票は明後日までできます。皆さんどうぞよろしくお願ひします。それでは提案させていただきます。私は松山市にもう1つプールをつくったらいいと思います。私は兄弟3人で水球をしています。2017年の国体に向けてチームで頑張っています。愛媛県には水深2メートル以上のプールが1つありません。高知県・香川県・徳島県・広島県・岡山県には少なくとも1つはあります。水球だけではなくシンクロや飛び込みも深いプールがないと練習できません。また、コミセンやアクアパレットもたくさんの方が利用しています。なので、もう1つプールをつくればプールの利用者がもっと増えると思います。だから私は深い50メートルプールをつくってほしいです。できれば久枝地区の近くにつくってくれると、このまちも活性化すると思います。

【市長】 はい、ありがとうございます。私は鴨川中の近くに住んでいるものですから、鴨川中の横断幕でかももが紹介されたとき、またニュースで見たときに、これは本当にかわいいなと思いました。これはゆるキャラグランプリに出したいと思ったのですが、ゆるキャラグランプリで上位に入ろうと思ったらものすごい投票数がないと入れないんですよ。これは無理に松山市が言って下位の成績に沈むと中学生の方が落ち込むといけなと思って、自主的なことに任そうと思って松山市からはかももをゆるキャラグランプリに出場させるお話はしませんでした。でも自らエントリーされているのはいいと思います。本当にかわいいと思いますし、色々な方法で生かしていくやり方があると思いますので、いろいろ工夫してかももを広めていってもらったらと思います。プールの件ですけれども、ご意見承りました。難しいところがあって、まずお金です。お金がいくらでもあれば、私もこういうタウンミーティングで皆さんから「これやってや、あれやってや」と言われたら、「わかりました、それやりましょう、これもやりましょう」と言ったほうが、私も人間なので楽なんですよ。でも行政がものをつくる時には、将来の維持管理のことも含めて考えないといけないところがあります。中学生さんを前にしてお金のお話をするのは申しわけないですが、今、国自体が1千兆円の借金を抱えている現状があります。これは中学の勉強で出てくるかな、国から地方へは地方交付税交付金とか国庫支出金というかたちで地方にお金が回ってくるのですけれども、仕送りと同様と似たところがありまして、親元が苦しかったら仕送りが増えるとはとても考えにくいですよ。これから地方はますます厳しい財政を強いられる。今回、3年後に愛媛国体が行われてアクアパレットが競泳の会場にな

るんですけれども、県と市で議論になったんです。アクアパレットは市民の皆さんが使っているの、あまり深いプールにすると足が届かないことになってちょっと危険がある。今、言われたとおり国体だと超一流の選手たちが来るわけですから、飛び込んだときに底が近いとか擦れることがあってはいけないので、国体で使うにはもっと深さを深くする必要があったんです。そこで県と議論になりまして、県はアクアパレットを会場にと言ったんですけれども、じゃあ深くしないといけないので掘らなきゃいけません。その間、工事期間中は市民の皆さんは利用できなくなります。その間の市民の方の影響はどうするんですかということで、愛媛県と松山市で議論になりました。これはけんかじゃなくて議論です。議論になりまして、なかなか会場が決まらなかった。結局はアクアパレットの横の駐車場に50メートルの仮設の公認プールをつくることにしました。これが総合的に考えて、工事期間中のことも考えて、お金のことも考えて出した結論です。内子町さんが持っていたプールが古くなってきているので、内子町さんがその50メートルの仮設の公認プールを有効活用することになりました。ものすごく愛媛県と松山市と20市町はいいお金の使い方ができているのではないかなと思います。確かに水球やシンクロをするのは深いほうがいいと思います。今言われて、「そうか、水球とかシンクロをするのだったら常時深いプールが要るのか」というのを気づかせていただきました。私も松山人・愛媛人ですから、ほかの県にはあるんですけどと言われるとちょっと悔しいところもあるんですけれども、ご意見としてしっかりと承りました。また利用の状況なども考えて検討させていただいたらと思います。ご意見ありがとうございました。

【中学生】 今回のテーマの青少年の育成というところに関連して質問させていただきたいと思います。最近、投票率の低下が国政でも問題になってきていると思うんですけれども、その中でも松山市は選挙コンシェルジュなどの活動をしていただいている、非常に素晴らしいなと思います。若い大学生とかに語りかけるのもいいと思うんですけれども、投票率を上げるためにはまずは小学生とか中学生とか、一応、社会の教科でも習ったりすると思うんですけれども、小さいころから選挙という存在を身近にするために、市で出前教室のようなキャンペーンの取り組みができれば投票率が上がるのではないかなと思うんですけれども、どうでしょうか。

【生涯学習政策課長】 ご意見ありがとうございました。教育委員会事務局の津田と申します。今のご意見しっかりと受けとめさせていただきました。松山市には選挙管理委員会がありまして、市の職員が何名がいます。出前教室等は、例えば文化の話とか保健の話とか税の話とかありますが、選挙

制度も出前教室の1つにしてほしいというお話を、私から選挙管理委員会事務局に伝えておきますので、ぜひとも選挙制度を子どもたちに理解していただいて、少しでも投票率が上がったらいいと思います。ありがとうございました。

【市長】 私から補足を。今、特に若い方が選挙に行かなくなっています。決して誤解をしてほしくないのですが、誰に投票してくださいという話でなくて、選挙には行っていただきたいと思っています。特に若い人。今、男性の平均寿命は80歳、女性は86歳と言われていています。今、私47歳ですから、あと33年です。例えば中学3年生が15歳で20歳になったら選挙に行けますけれども、20歳になって行けたとして平均寿命まで60年。もう私たちよりはみんなの世代のほうが長く生きるんですよ。政治とか行政にかかわるんです。そういう大事なことを決めるのが政治ですよ。若い人のほうが長くかかわる物事なのに、若い人が選挙に行かないのは非常に問題なんですよ。ですから、意思の表現である選挙は行っておかないといけません。誤解をしていただきたくないのですけれども、誰に投票してくださいという話でなくて、選挙はものすごく大事なことから行っていただきたいと思っています。小学生さんにもわかりやすく。昔、選挙に行く権利は江戸時代のお侍さんのときはなかったんだよね。明治政府になってから認められて、最初はお金持ちの男の人しか選挙権がなかった。次に男の人全体に認められて、女の人に認められたのは最後だった。だからみんなに認められていたわけじゃない。獲得してきた歴史がある。だから選挙は大事なもので、必ず行ってほしいと思います。

【小学生】 久枝小学校6年です。僕は鴨川公園などの公園にごみ箱を置いてほしいと思っています。理由は、たまに隅に落ちているごみを見かけることがあるのですが、ごみ箱がないのでいつも拾うことができません。なので、ごみ箱をつけてほしいと思います。また、猫がごみを触ったりしないように中身をすべてなくしてから捨てるように看板をつけたらいいと思います。ごみを回収する車に回収してもらえば、みんなが使う公園なのでいいと思います。よろしくお願いします。

【市長】 これは実は経緯があるんですよ。

【都市政策課長】 都市政策課川口と申します。ご意見ありがとうございます。公園のごみの問題ですけど、公園を管理していく上で1つの大きな問題であると考えています。ごみ箱は色んな考え方がございまして、現在も公園の中でごみ箱を設置している公園と設置していない公園の両方ございます。どちらかというとは今は設置していない公園が多い状況です。なぜかといいますと、以前はほとんどの公園で設置していたと思うんです。

けれど、ごみ箱を設置することによりまして、家庭からのごみを公園に持ってきてしまう問題がございまして、今の段階でお願いしているのは公園のごみは家庭に持ち帰ってくださという考え方で、今の動きとしては公園からごみ箱を撤去していく動きが主な動きになっておりますけれども、地域によって色々な状況がございまして、公園を管理していただいております公園管理協力会という団体がございまして、地域でいろいろご相談していただいて、設置してくださというお話がありましたら設置もしますので、地域のみんなで話をしてお話ししていただけたらと思います。よろしくお祈りします。

【市長】 ルールとマナーをちゃんと守ってくれたらみんながうまくいくのですけれど、例えばお弁当をどこかお店屋さんで買ってきて、お弁当をきれいに洗ってごみ箱に捨ててくれる人だけだったらいいんだけど、お弁当をちょっとだけ食べて後の残飯をそのままごみ箱に捨てていたら、犬とか猫が来て、ごみ箱を倒してしまっただけで散乱して、カラスも来るだろうね。そういうことがあるから、昔はごみ箱を置いていたところもあるけれど、今は自分の家のごみを持ってきて捨てる人もいるくらいだから、なかなかできていない状況です。公園の利用全部にかかわるのですけれど、ルールとマナーを守ってもらうことが大事だなと思っています。そういう経緯があります。

【男性】 久枝地区で防災の役員をしています。久枝地区の防災連合会でアンケート取ったんです。伊予灘と芸予地震に関する被害の状況とか、皆さんが普段、防災に対してどういう意識を持っているかと。ようやく先日集計をしまして、近々防災の連合会の会合のときに各地区の皆さんにはお渡しできる段取りになったのですが、その中で問題があるなということがあって、防災会だけでは無理かなと思うことがあります。市の事業で耐震補強を4月から12月まで募集して50件やっていると思うのですが、活用状況がうまくいっているのか。家屋が地震によって倒壊を防ぐことも重要ですが、家具の固定をすれば、もっと安価に広くできます。例えば家具転倒の道具を全軒配布するとか、補助金を出すとかのほうが、住民の皆さん全体に同じ金額使うのであれば、家が倒壊しなければ家具の固定によって下敷きになって圧死する方が少なくなる。そういうことについても今後検討していただきたいと思っています。

【消防局総務課長】 消防局総務課の中矢と申します。貴重なご意見ありがとうございました。まず久枝地区の自主防災活動ですが、非常に活発だと思います。熱心な活動をされてお祈りして、私も先般、久枝地区で震災体験アンケートを実施したというのをお聞きして、アンケートを見させて

いただきました。詳細なアンケートで色々な詳しい回答も各地区から取られているようなので、こういう活動を今後とも地震災害に備えて続けていただきたいと思います。先ほどご意見いただきました家具の固定ですが、このアンケートの中にもいろいろとありまして、固定していない家具があったとか、そういうアンケートも非常に大切なことだと思えます。今後、そういう貴重なご意見があったことを踏まえまして、前向きに関係部局と連携しながら検討させていただきたいと考えておりますので、今後とも自主防災組織の活発な活動を継続していただきますようよろしくお願いいたします。

【市長】 貴重なご意見いただきましてありがとうございます。今、私どもでは家具の固定の補助は出していません。やり方としてあると思えます。防災マップを平成23年に配らせていただきました。全戸配布ですから、すべてのご家庭に、皆さんのところにあります。その後、東日本大震災が起こったのですけれども、全く使いものにならないというものではありませんので、今年度中に新たな防災マップを皆様のごところに全戸配布しますので、また見ていただきたいのですが、例えば沿岸部の浸水地域に蛍光色をつけているんです。愛媛大学に防災情報研究センターがありまして、防災の専門家の方がいらっしゃるんです。矢田部先生という方が中心ですが、その矢田部先生ともお話をし、昔は浸水地域にもっと派手かましい色をつけていたんです。でも、それやると実は目の不自由な方にはより見にくかったりするんだよと、蛍光色の色まで配慮した防災マップをつくらせていただいた入魂の品です。私、去年の夏に防災士の資格を取らせていただきました。防災に対する知識と意識を高めよう、そして松山の防災に生かそうと防災士の資格を取らせていただいたのですが、防災マップの1ページ目にこんなデータがあります。松山市民へのアンケート、何らかの災害に遭遇すると思っている人は75パーセント、つまり8割の人が何らかの災害に遭遇するだろうと思っているんです。でも、地震に備えて家具固定をしている人は19パーセントしかいない。8割と2割です。今、最新の数字では35パーセントまで上がってきたということです。私、防災士の資格を取らせてもらうときに勉強させていただいたのですが、皆さん、家のタンスを1人で持てますか。2人でやって持てるくらいじゃないかなと思います。皆さんも地震を起こす起震車に乗られたことあるかもしれませんが、重いタンスはたぶん震度7だったら倒れます。倒れたのが体に当たって当たりどころが悪かったら命にかかわります。体に当たらなかったとしても、タンスが倒れることによって逃げ道がなくなります。もし、火が迫ってきたらと考えると家具固定はしないといけないと思われる

と思います。今はホームセンターに行けば家具固定の道具が売っていますが、皆様のご家庭に行政がというやり方もあると思います。貴重なご意見いただきましたので、また考えさせていただいたらと思います。耐震補強の活用状況は何かお答えできることありますか。

【都市政策課長】 都市政策課です。ご意見ありがとうございます。住宅の木造耐震改修補助ですけれども、松山市は昔の耐震基準で建てられた昭和56年以前の建物を対象に、耐震診断の調査をすることに対して2万円の補助が出ます。その結果を受けて補強が必要と工事をされる場合には、これまでは60万円までの補助しか出ていなかったんですけども、今年度から補助金を上げまして、90万円までの補助金が出るようになりました。それと合わせてリフォームの補助金もあります。リフォームする場合には工事総額の10パーセントまたは30万円のいずれか低いほうの額がリフォームされる場合に補助金になります。加えて耐震補強される場合にこの制度を利用しますと10万円の金額が補助されます。色んな補助制度がございますので、家のリフォームをする場合、耐震をする場合にご相談いただいたら有利な補助金がありますのでよろしくお願ひします。

【市長】 防災にちょっと思いがある私から、もう1つだけ皆さんにお願いがあります。備蓄ですが、国も1週間分用意してくださいと変わりました。皆さんご面倒かもしれませんが備蓄をしていただきたいと思います。松山市も、例えば坊っちゃんスタジアムの下とかに備蓄はしているのですけれども、52万人の7日分全部を用意しておくのは、スペースの問題や費用的なこともあり、なかなか難しいことです。恐縮ですが、いざ災害のときに避難所で皆さんに配るとなると公平性を保つために並んでもらわないといけません。おじいちゃん、おばあちゃんにも並んでもらわないといけません。皆さんそれぞれ備蓄をしていただいたら並ばなくて済むわけです。お好みのものも手に入るわけです。自分たちで日ごろから自分の好きなものを持っていれるわけですから。行政としてもしっかりと備蓄はしていきたいと思いますが、行政だけではやれることも限られますので、1週間分の備蓄があれば並ばなくて済む、好きなものがすでに手元にあることになりますので備蓄のご協力をよろしくお願ひします。

【小学生】 組体操を見に来てくれてありがとうございます。みどり小学校6年生です。願いを聞いてくださってありがとうございます。卒業に向けて頑張ります。今日はPTAバザーがありました。これから行事やイベントを応援してほしいです。理由は色んな人と触れ合って楽しみたいからです。

【生涯学習政策課長】 今日はみどり小学校のPTAのバザーで、職員に

みどり小学校のPTAの役員もいまして、朝から奮闘していると先ほど連絡がありました。PTAは名前が示しておりますとおり parent 親、それと teacher 学校と先生、その両者が一体となって子どもの安全・安心を守って教育していこうというところでございます。そうした中、今では地域の方々もいろいろ参加をしていただきまして、婦人会の方とか高齢クラブの高齢者の方でありますとか盛り上がっていることは重々承知しております。実際の運営でございますけれども、私も実は姫山小学校でやっていたけれども、PTA会費を徴収しまして、その中の一部を使って、例えばうどんとか焼きそばとか色んな催し物をやっていると思います。お父さんやお母さんが鉢巻きをして汗を流してやっていると思いますけれども、そういった売上をもって運営している実状です。余剰金が出たら、学校によって若干違うんですけどもPTA会費に戻し入れするとか、社会福祉協議会に寄付をするとか、色んな催しもやっております。今のご意見も持ち帰らせていただきまして、行政としてどうかたちで補助をすることがいいのかどうか、その辺りも検討させていただきたいと思います。ありがとうございました。

【市長】 今の話ですけれど、とにかくつながりを大事にしていきたいんです。人と人とのつながりを大事にしていきたいです。というのは、私たちが子どものころは子育ての面でいうと、悪いことをしていたら、近所のおじちゃん・おばちゃんが「こら、そんなことしたらいかんがね」と言って怒ってくれていた。今、子どもを怒ったら、逆に仕返しされたらどうしようとか、そんな風潮になっています。これが子育て。防犯は昔はもっとつながりがありましたから、例えば「何か最近見知らぬ人が地区に入ってきているよ」ということもあった。地域の目があった。例えば介護の面でも、家に寝たきりのおじいちゃんやおばあちゃんがいたとしたら、「どうしても外に出ないといけないんだけど、外出の間だけ見てくれる？」ということも言えた時代があった。でも、今はどんどんつながりがなくなっている。孤独とか個人の時代になっていますね。私は横文字があまり好きじゃないですけど、コミュニティとかコラボレーションとか、そういう「コ」に戻していきたいと思っています。色んなつながりができれば、防犯にしても子育てにしても介護にしても助かるので、PTAのことも言ってもらいましたけれども、つながりを増やしていくことには松山市としてサポートをしていきたいと思いますので、市役所に「こんなことをするんだけど、何かサポートしてくれんやろか」みたいなことがありましたら、遠慮なく市役所に相談していただけたらと思います。よろしくお願ひします。つながりが大事です。

【中学校】 北中学校3年です。僕は北中学生の1人として地域の道路と通学路に関して意見があるので、述べさせてもらいたいと思います。私たち北中学校からの要望は、自転車通学路と普段使っている久枝地区の歩道の整備です。まず、こちらの写真をご覧ください。これらは、私たち北中学校の自転車通学生の通学路です。これらの道路は、歩道が狭く走行中の自動車と通学生との距離が近いので危険な場所が多くあります。

【中学校】 この写真は私たちが普段使っている久枝地区の歩道です。向かって右側の歩道は、でこぼこが激しく自転車で通る際に危険なため、歩道を平らにして向かって左側の歩道のようにブロックをつけてほしいと思っています。こちらは山越にある歩道です。この歩道は歩道と自転車道との区別がされており、道幅も広いので安全な道になっています。私たちが普段通る北中や久枝地区の歩道もこのように舗装されることによってより安全な道になると思います。ぜひご検討をよろしくお願いいたします。以上です。

【市長】 久枝に20年住んでいても写真だけではわからないところがありますね。歩道と自動車道を分けるのはどうでしょうか。

【都市政策課長】 都市政策課川口です。ご意見ありがとうございます。写真を見せていただき大体の場所はわかったのですが、松山市では昨年度から自転車専用道路をつくりだしました。それまでは、自転車専用道路はなかったのですが、松山市は市内で6路線を対象に計画的につくる予定にしています。そのほかの道路は、基本的には県の条例により車道の左側を通っていただくことになっております。例外として、小学生13歳未満と70歳以上の方は、歩道も通ってもよろしいということになっています。新しく自転車専用道路をつくるためには、用地のご提供をしていただく必要がございます。今すぐ道路を広げて自転車専用道路をつくるのは、限られた財政の中でちょっと難しい状態でございます。ただ、ほかの地区では、ドライバーの方から自転車の方に対する安全の確認をしていただくために、グリーンラインといいまして緑色のラインを道路の端に引く工事もしています。現場を見させていただきまして、そういう対応ができるかどうか調査をさせていただいたらと思います。よろしくお願いいたします。

【市長】 今日は90分間ですが、3時半ですぐに帰るわけではございません。ここの道路のところが危なく感じるんですとか、ここに街灯がほしいんですとか、そういうこの地区にかかわること、地図を持ってきていますので遠慮なく言ってもらったらと思います。また、現場を確認して次の対応を取らせていただきたいと思います。今、松山市の全体的な方向性と

しては、歩く人と自転車を分けようということで進めています。土地のスペースの問題もあるので、できるところはということになるのですが、この近くでいいますと、中央通りから愛大の山越グラウンドまで延びております。あそこが歩く人と自転車の人を分けた工事をしてしております。高齢化してくると脳卒中や脳梗塞になるということはよくあることです。そうすると体が不自由になる。半身不自由な状態で家でじっとしているよりも、歩いていただいたほうが回復が早いんだとお医者さんから聞いております。病気になる前に日ごろから歩いていただくことが大事です。例えば平和通はちゃんと歩く人と自転車が分かれた形になっています。そのほうが歩きやすいです。自転車とぶつかるようなことがあって「私、あんな危ない思いをしたから、もう外を歩くのが嫌だ」ということにならないように分けております。ただ、愛大の山越グラウンドのところは、サツキが生えているのにのけて工事に入ったので、私は工事期間中のことを考えなさいと怒ったのですが、そういうことも考えながら工事に入っていきたいと思えます。松山市は小学校の通学路の緊急点検をさせていただきました。平成24年の春に京都の亀岡だったと思いますが、子どもたちの列に一晚中運転していた若者の車が突っ込んで10人が死傷する事故がありました。そういうことが松山ではないようにということで、夏休みに国の人も来てください、県の人も来てください、市ももちろん行きます、警察の人も来てください、PTAの人も参加してくださいという小学校校区ごとの緊急合同点検をさせていただきました。市全体で300ぐらいの危険箇所が上がってきたのですが、今はたぶん200カ所ぐらい対応は終わったと思えます。残っているところもできるだけ早く改修を進めていきたいと思えます。これはホームページに通学路の危険箇所を掲載している画面ですが、久枝小学校の校区でいうと、こういう危険箇所が出てきたのですが「路側帯を広くする白線を塗り直しました」「横断歩道を設置しました」「横断歩道塗り直しました」というのを松山市の小学校全校区で出しています。これが松山市の思いです。これからも危険箇所が増えていくこともあるでしょう。危険箇所が増えたらまたそれに対応していきますので、遠慮なく市役所にここが危ないよと言っていたらと思えます。

【男性】 私は、鴨川3丁目に住んでいます。市長のお宅の近くですが、大川は水はきれいです。魚も多いです。私の大好きなカワセミがいます。ただ、県道から北に向いて曲がったカーブのところへ上流から流れた土砂やごみが溜まって、ものすごく流れが悪くなっています。鴨川中学の生徒がときどき課外活動で清掃をしてくれています。ごみのポイ捨てもすごいですけど、あそこの溜まった土を浚渫してもらえたらと思うのです。

が、いかがでしょうか。

【下水道政策課長】 ご意見ありがとうございます。大川は県河川になりますが、ご意見をお伺いしましたので、実情を見まして県にお伝えしてご報告させていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

【市長】 これは、実は和気のタウンミーティングでも出たと思うのですが、和気に下水処理場がありますね。下水道は下流からどんどん上流に延ばしてくるんです。なのでこのあたりは合併処理浄化槽ですけど、下流から延ばしてくるんです。和気の下流が最も隅で堰き止めるところなので、ペットボトルがものすごい多いです。あれは誰かが捨てているんです。自然にペットボトルが生えるわけがないですから。あれを見るとマナーやルールが守られていないなと悲しい思いがいたします。和気のタウンミーティングにも出て、県管理の河川でありますので市が受けてきちんと県につながりますけれども、ほんとにきれいにしていきたいと思っています。県に確実に伝えておきます。

【男性】 私は、久枝地区で1番小さい町内会の段ノ上町内会の自主防災会長やっています。今回は、久枝地区全体の震災体験アンケートに多くの方に協力いただきましてありがとうございます。全体で4割ぐらいの方から回収できまして、来週早々にも結果を皆さんにお届けしようと思っています。防災日より等で全戸配布しますので、皆さんの手に届くかと思っていますので、よろしく願いします。段ノ上で私はこの数年間、数多くの学習会など重ねて、防災活動をどうやっていくかを検討してきました。色々な議論の中で明らかになったこととして、市で久枝地区内は7つの指定避難場所があります。ところが、例えばうちが指定されている聖陵高校を見ますと、今度の南海トラフ地震は東日本大震災の経緯を見るとわかるように、海溝型地震は非常に長く揺れが続くということです。数分から10分以上続く。それから高い建物が倒壊する可能性が高くなる。例えば聖陵高校では、民家にボールが入らないように高い鉄塔を10数本グラウンドにつけて網を張っています。これ決して悪いことではないのですが、大きな震災時にはそういうものが倒れてしまうと危険にさらされる可能性があります。それから、もともとあのグラウンドは池でしたから液状化現象によって非常に危険にさらされる可能性があります。実はこの7カ所の指定避難所のほかにもそういうところがあります。そうすると我々は指定避難所があるからここに行けば安全だと簡単に決められないわけです。我々は議論した結果、もっと自分たちでできるだけましなところを複数探して、こういう場合にはこうしようと選択肢をちゃんとつくっておこうという

ことで、1つには近くに世界救世教という宗教組織ですけど敷地がありません。ここと交渉して、いざという場合に避難所の1つとして利用させてほしいと申し入れをして、向こうも前向きに検討したいということですが、どうしても行政側のかかわりもお願いしたいという希望が出されました。こういうケースはたぶんこれからほかにも出てくると思うのですが、決められた現在の7つの指定避難所だけでよかれというのではなくて、あらゆる可能性に対してもっと住民が自発的にこういうところと言っているところに対して、行政的な支援をどうしていくかということ。もう1つ関連して、去年学習会を重ねて、小さい自主防災会ですが63世帯中57名の人に参加して42世帯から3分の2の世帯が参加して、初めて避難訓練をやることができました。この避難訓練の中で、応急担架で参加者全員が想定された災害者を担いで助けるという訓練をやりました。その中でわかったことですが最低6人必要です。6人いないと運べないんです。例えば御嶽山の自衛隊員でさえも、足元が違いますけど1人の災害者を助けるために6人でやっていました。そうしますと、災害時に要援護者を誰が助けるのかを予め指定してやることは、非常に非現実的ではないかと思います。我々が考えるのは、やはり災害時は東日本大震災の経験からしても、従来はボランティア意識なんかまったくない人が変わるんですよ。そういう大きな転機になるということをレベッカ・ソルニットという作家も書いていますが、そういうことにもっと信頼をして助けなきゃいけない人には地域で情報をきちんと共有するという、そういう信頼に基づいたやり方を考えていかないと、極めて非現実的ではないかという問題を提起したいと思います。よろしくお願いたします。

【消防局総務課長】 消防局総務課の中矢でございます。ご意見ご質問ありがとうございます。まず避難所でございますが、いろいろと課題があると思います。久枝地区の避難所は現在指定させていただいている7カ所ですが、北中学校は和気地区に鴨川中学校は潮見地区になりますけども、近接の避難所もご利用いただいて結構でございますので、近隣の自主防災組織等との連携もしていただきながら、一番近くの避難所を利用させていただくと。先ほどご質問の中にありましたように避難所は2つ以上の避難所を普段から確認していただいて、複数の避難経路を普段から準備して避難していただくのが重要になってまいります。それと、民間施設の問題もございますけれども、現在、松山市が地元の自主防災組織や消防団を中心に地区防災計画の作成を依頼しております。松山市全体の計画として地域防災計画がございます。それは、松山市全体の計画ですけれども、地区それぞれによって災害の特性が異なっております。久枝地区は久枝地区の災害

の状況があると思いますので、地区防災計画の中で問題点を抽出していただいて、我々行政と一緒にその問題点をどう解決していくかを今後検討していきたいと思いますので、これからも自主防災活動のご協力をよろしくお願いいたします。

【市長】 我々も例えば「あそこの家には1人暮らしのおばあちゃんがおるから、助けてもらわないと1人での避難は難しいですよ」とか、そういう情報はできたら出していきたい。というので、個人情報になりますので個人情報をどう扱ったらいいでしょうかという審議会をつくって「こういうことに使うのは大丈夫です」というのをいただいたので、石井地区をモデル地区にして、今やっています。この石井地区をモデル地区にやって、これをできたら広げていきたいと思っています。大事な個人情報なので悪用されることがあってはいけないので、我々としては情報を提供したいのですが、そこには一定のルールが必要だろうということで、まずはモデル地区を決めて広げていきたいと思っています。情報の共有は広げていきたい。安全を高めていきたいと思っています。

【小学生】 久枝小学校6年生です。私は南校舎のコンクリートの庇を直してほしいと思っています。それは集いや昼休みに遊んでいるときに鉄筋が見えてとても気になります。危なくないようにはしてくれていますが、みんながよく使う校舎なのできれいに直してほしいです。よろしくお願います。

【生涯学習政策課長】 ご意見ありがとうございます。市内には小・中学校合わせて約90校あるんですけども、教頭先生や校長先生方は日々学校の安全安心に向けて点検等をされておられます。そうした中で、久枝小学校やみどり小学校からも色んなご意見いただいておりますので、場所をもう1度確認させていただきまして、修繕の必要性があるのか確認させていただければと思います。また後で正確な場所を先生がいらっしゃったら一緒に教えてください。お願いします。

【市長】 市長も市役所職員をびっくりさせる意味もあって、松山市には22支所あるんですけど、いきなり行ったりするんです。ある支所に行きましたら、さっきみたいに庇のところ危ないところがあったので、これは市民の方に危ないことがあったらいけないので早速直しましょうということがありました。こういう情報は教えてくれたほうがありがたいんです。教えてくれてありがとうございます。松山市内には、小・中学校合わせて80を超える学校がありますので、ちゃんと見てどれから直さないといけないのかを確認してやります。ありがとうございます。

【中学生】 松山市立鴨川中学校です。私は久枝地区だけでなく松山市全

体の公園の整備をしていただきたいです。なぜなら私の家の近くには小さい子どもがたくさんいるのですが、そのお母さん方から公園の遊具が錆びついていて、いつ壊れてけがをしてしまうかが心配だという意見をよく聞きます。だから私は公園の整備をしていただきたいと思います。ご検討よろしくをお願いします。

【都市政策課長】 ご意見ありがとうございます。今ある公園の遊具の整備ですが、現在、松山市には320を超える公園がございまして、基本的に遊具の修理は開園してから30年以上経った公園を対象に、順次、遊具の更新などをしております。ただ、危ない遊具は年に何回も点検しているんですけれども、なかなか気がつかないこともございますので、この公園の遊具が危ないという話があれば、連絡していただいたら安全安心についてはすぐに修繕をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

【市長】 松山市の公園整備の在り方を説明させていただいたらと思います。今、石手川公園はきれいにしています。平成16年から26年の予定です。我々の子どもころは、石手川沿いはまだきれいに整備されていないところもありました。昔は石手川の公園は車で行くようなところではなくて、どちらかという地元の人が利用する感じだったんですけど、今、岩堰橋から市坪橋までの6キロメートルを3つのゾーンに分けて整備しているんです。ビーチバレー場が欲しいとか、犬と一緒に走れるドッグランが欲しいとか、お年を召した方のために健康遊具が欲しいとか、皆さんのご要望をいただいて10年刻みくらいで石手川公園をきれいにしています。昔は車で行けなかったのですけれど、今は大きい駐車場もつくって、ベビーカーで子どもさんも連れていけるように駐車場を整備したりしています。久枝から石手川まで遠いですが、そういう考え方をしてまちの中心部にある緑のゾーンの石手川公園を整備しています。松山市全体としても公園はしっかり整備していきたいと思いますので、逆に危ない遊具があったら遠慮なく言ってもらったらと思います。またボール遊びができる公園も増やしたいと思っていますので、また言ってもらったらと思います。

【小学生】 久枝小学校6年です。僕は雨の日でも運動場で遊べるように小さいドームをつくって、その中で楽しく遊べる遊具がほしいと思っています。それは最近1年生や2年生が運動場に来ていないので、雨の日でも1・2年生が楽しく遊べる遊具が欲しかったからです。例えばトランポリンのような遊具があれば楽しいと思います。よろしくお願いたします。

【生涯学習政策課長】 ご意見ありがとうございます。教育委員会津田でございまして。ご意見としてはしっかり受けとめておきます。ただ、確かに

ドームがあれば体育館を使わずにできるのにと考えたのですが、現実的に学校は市内にたくさんあります。今現在、教育委員会としては、皆さんの学校は仕上がっていますが耐震補強を最優先でやっています。全部の小・中学校が耐震補強できるのに、あと2年ほどかかります。これをまず仕上げるのが教育委員会の第1目標として安全安心を観点にやっていますので、今のご意見は承りますがドームは非常に厳しいので、体育館をご利用していただくことになろうかと思えます。理解してください。お願いします。

【市長】 本日はたくさんのご意見をいただきまして、ありがとうございます。ちょっと驚いたのが、こんなに子どもたちが手を挙げるのかと思いました。今日で81カ所目のタウンミーティングですが、これだけ子どもたちから手が上がったのは初めてじゃないかなと思います。逆に大人の方は遠慮されて、子どもがこれだけ手を挙げているのだったら子どもに意見させてあげようと思われて、大人の方は発言したい方もできなかったかもしれません。それは申しわけありません。でも、お子さんたちが将来の松山・愛媛・日本を担うわけですから、こういう意見が出てくることはいいことではないかなと見ていました。私から最後に申し上げたいことは、市役所というのは3つの文字になりますけれども、市民の皆さんの役に立つ所で市役所じゃなきゃ意味がないと思っています。このタウンミーティングをやり始めたのも、市民の皆さんと協働のまちづくりをしたかったからです。松山外環状線は坊っちゃんスタジアムのあたりで工事をしていきますけれども、どんどん伸びていきます。JR松山駅も県と松山市が分担をしてやっております。道後温泉の横の椿の湯も30年経ってきているので改修工事に入ります。椿の湯の西側のところを土地を買わせていただいて、リニューアルをしてまいります。また、花園町の空間改変も入りますし、将来的には市駅前の空間改変もしていくのではないかなと。これからは松山市が目に見えて変わってくる。でも、市役所と市民の皆さん、また県と市で違う方向を向いていることではいいまちづくりなんてできません。「市役所に言ったけれど放っておかれた」では市役所と皆さんが一緒になったまちづくりなんてできないと思いました。ですので、我々から地区に出向いて課題を解決しようというタウンミーティングを考えまして、今、2巡目を終えようとしているところです。どうか皆さん方、市役所に対して敷居を高くしないでください。どうせ言っても変わらないではなくて変わります。言っていただいたら変わります。「こんなやり方はできないか」と言っていただいたら、「そのやり方はできませんが、こういうやり方だったらできます」と情報提供することもできます。投票率

のことを言われた学生さんがいましたけれども、行政に対して市民の皆さんと距離ができてしまうことはいいことではありません。市民の皆さんと一緒にまちづくりをこれからも進めていきたいと思っておりますので、皆さんのご理解とご協力をお願いいたしまして、今日のタウンミーティングの締めのごあいさつとさせていただきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

— 了 —